

協働事業提案書

NO. 4

1. 事業名	つきみ野けやき並木再生に向けて
2. 提案者	つきみ野けやき並木を考える有志の会 代表 村越美和子
3. 事業の目的	<p>つきみ野には樹齢 40 年、69 本のけやき並木があります。年々成長を続けることにより道路への影響および落ち葉、日照等による沿道住民の負担が問題視され、全面伐採が一旦決定されましたが、地域住民のけやきに対する愛着等が考慮され計画が見直されることになりました。しかし、伐採すべき基準、今後の維持管理等、未解決の事項が多々あります。その中でも大きな問題が剪定方法です。長年続いた強剪定が現在の乱れた樹形の原因であり、反面、正しい剪定を続けることが今後の維持管理に欠かせません。専門家の指導のもとけやきらしさを残しつつ、つきみ野にふさわしい大きさに再生させる剪定をモデル的に実施し、樹齢 40 年の貴重な樹木を守り育てる指針を作成したいと考えます。地域住民の原風景となっている並木を住民と行政の協働により、問題を解決しつつ、次世代に引き継ぐことが大切と考えます。</p>
4. 事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. モデル剪定 経験のある樹木医の指導により、再生対象の樹木をつきみ野の対象地区にあった大きさに試験的に切り詰め剪定し、再生プランの具体例を地域に示し理解を得る。落葉期の剪定が必須のためこの秋をめどに実施。 2. 落ち葉負担を軽減させるため、地域住民による落ち葉サポーターの募集および活動。 3. 病気の樹木、ある程度手を加えても存続させることが難しいとおもわれる樹木を専門家の指導をもとに選定 4. プチ樹木医育成活動 住民の樹木に対する知識、意識の向上を図るー
5. 提案の理由	<p>街路樹の管理は行政にあります。しかし、つきみ野けやき並木にかかわらずその管理方法に市民の多くは疑問を感じています。不適切な樹木の選定（一向に成長しない樹木）、季節、樹木の種類を考慮しない剪定（花が咲く前に剪定、樹形を乱す剪定）などです。モデル剪定を通して学ぶことが今後の街路樹管理にいかされ、ひいては「市民に愛される街路樹」への道に繋がるはずで、1 年間の私たちの活動を通じ、多くの住民が高い関心を街路樹に寄せていることがわかり、管理者の行政と地域住民が協働しながら問題解決にあたるのが重要と考えます。また、街路樹は道路だけでなく、都市計画、環境など多面的要素を含むものであり、現在の土木管理課だけの管轄ではなく総合的な観点から事業計画がされることが必要と考えます。</p>

6. 市に期待する役割	1. 情報の提供・共有 2. 活動場所の提供 3. 広報活動 4. 説明会等への参加 5. 行政機関等との連絡調整 6. その他 〔 街路樹の管理者として現状の問題点を認識し、市民に愛される街路樹を形成していくために市民と協働してこの問題に対応して下さること 〕
7. 事業期間	問題解決まで(2、3年程度)
8. 事業に要する経費	・モデル剪定費 対象(2~3本) 35万円 ・講師謝礼等 7万円 ・事務(印刷)費 10万円 合計 50万円
9. 事業の効果	1. 樹齢40年、69本の住民に愛されているつきみ野けやき並木の再生および継承を可能にする 2. 活動を通じて地域コミュニティ育成 3. 街路樹に対する住民、行政の学習効果 4. 大和市の街路樹を市民の資産に変えていくきっかけづくり
10. その他	提案理由にもあるように街路樹は多面的な要素をもつ存在です。それぞれの立場から利点、問題点をあげつつ計画をし、実行していくことが大切と考えます。よって、行政側からも道路、環境、都市計画等の立場の方がこの協働に参加して下さることを希望します。